

教職員一覧

H30. 6. 1 現在

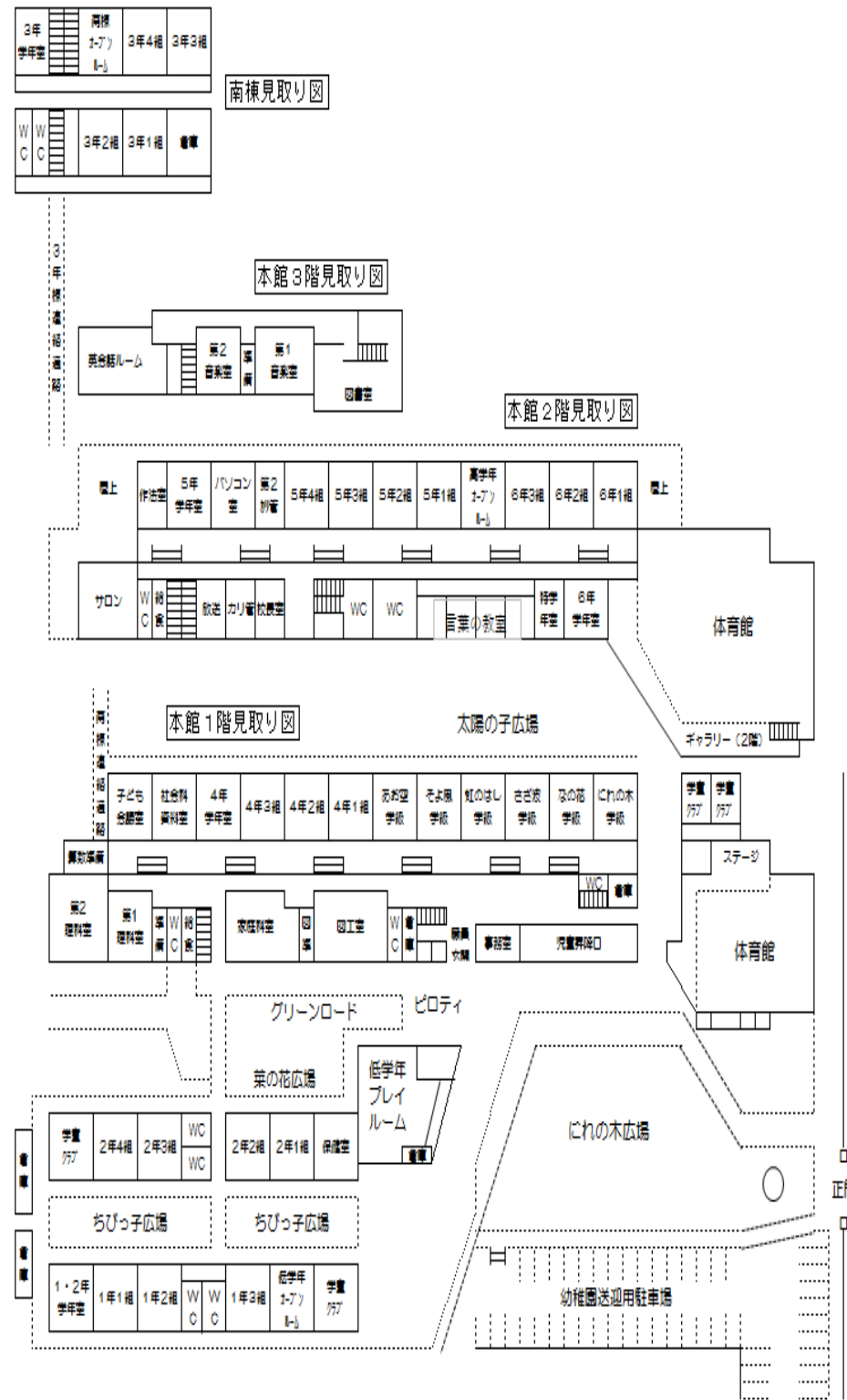
担当	氏名	担当	氏名
校長	田中 順勝	なの花	鈴木 信昭
教頭	小池 弘	にれの木	山崎 圭子
教務(加管)	鈴木美枝子	そよ風	松田 千夏
1-1	永井登志美	あお空	片山 滋美
1-2	座間あすか	さざ波	早川 泰子
1-3	三幣 望未	虹のはし	押元 文子
2-1	庄司ます美	ペンギン(言語)	安西貴美子
2-2	中山慎之介	ウサギ(言語)	山口 恭子
2-3	源間 隆弘	カナリヤ(言語)	御子神久実
2-4	阿部奈津江	生徒指導(加管)	岡本 泰彦
3-1	渡邊 早苗	音楽専科(加管)	若月 祐子
3-2	黒川 沙希	少人数(加管)	小川 大輔
3-3	安藤 好靖	少人数(加管)	佐々木翔平
3-4	渡邊 知子	少人数(加管)	本明 明香
4-1	蒔苗小百合	初任研指導教員	庄司 智和
4-2	岩崎 朋美	事務長	上田 朋美
4-3	岩崎 隆栄	養護教諭	吉野 優子
5-1	黒川 久美	市事務	平島 弘子
5-2	小澤 楓	営繕手	中村 正次
5-3	斉藤 優希	訪問相談員	鈴木 香
5-4	石井 俊道	スクールカウンセラー	杉田真理子
6-1	田中志のぶ	Sリーサルカー	武田 由美
6-2	山下 剛史	育休	菊間かほる
6-3	松本 謙吾	育休	須田麻弥美

児童数

H30. 5. 1 現在

年	特別支援						1年生			2年生				3年生			
	榎木	菜花	微風	細波	虹橋	青空	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4
男	3	4	7	5	5	6	16	17	17	18	19	18	18	15	16	17	16
女	3	2	1	2	2	2	18	18	18	14	14	14	14	13	12	12	12
計	6	6	8	7	7	8	34	35	35	32	33	32	32	28	28	29	28
年	4年			5年			6年			全校合計	言語通級指導教室(3教室)						
	1	2	3	1	2	3	4	1	2			3					
男	16	16	16	16	17	17	16	19	19	18	387	21					
女	19	18	17	16	15	15	16	18	19	19	344	11					
計	35	34	33	32	32	32	32	37	38	37	730	32					

館山市立北条小学校 校舎配置図



平成30年度 学校要覧

館山市立北条小学校



北条小学校 校歌
 作詞作曲 湯本 芳子

一、太平洋の波洗う
 房総は先ず夜の明ける国
 波に砕くる旭光に
 北条校は輝ける
 北条校は輝ける

二、西にそびゆる富士が嶺の
 姿の如く清らかに
 明日の日本の建設へ
 進まん我等手をとりて
 進まん我等手をとりて

〒294-0045 千葉県館山市北条4 5 6
 TEL 0470-22-2141 FAX 0470-22-2142
 E-mail houjyote@city.tateyama.lg.jp

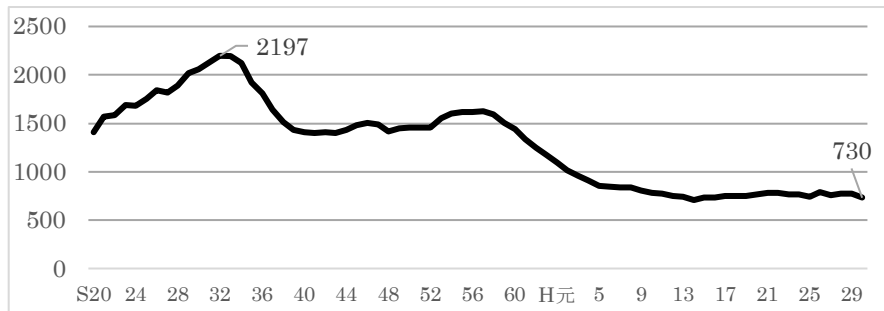
学校の概要

1. 学区の特色

北条小学校の学区は、JR館山駅を挟んで、東西に広がる海岸平野に形成された砂丘列に存在する。北条地区は明治期、安房地方の行政の中心となり、大正8年「安房北条駅（現館山駅）」が開業するに及んで、安房地区の政治・経済の中心的位置を確立する。近年、大型店舗の進出等で従来の町の中心部から周辺部へと人の流れが変わってきた。従来の中心部は人口の希薄化の傾向さえ見えはじめている。このような時代の流れは、一面では活力の低下を招き、家庭環境の変化等の問題を生みつつある。しかし、地域社会の骨組みは堅牢で、連帯感も強く、地域の教育力は健在である。

また、PTA活動等への保護者の協力状況を見ると、学校への愛着や期待感、地域の自治活動力を強く感じさせられる。

2. 児童数の推移と児童の様子（H30.5.1現在）



安房地方の中心に位置し、都市部と同様に少子化現象、異年齢集団の消滅、塾、習い事の増加による遊び時間・場所の減少が生じているが、学校・家庭・地域の連携も進み、地区子ども会、社会体育の振興に加え、地域全体で学校を支えるべく活動があり、子ども達は伸び伸びと生活している。また、大人との挨拶や対話にも躊躇せずに対応する姿も随所に見られる。

平成30年度 北条教育の方向

1. 学校教育目標 **たくましく現代に生きる子どもの育成**

—創時力の進化・深化—（研究目標）

このほし
 ≪前提≫子ども達には地球の未来が託され、

それは世代を超えて連綿と続いていく。

【北条っ子は】

受容的批判的思考、創造的発想で自分を確かにし、断行力を発揮して

(1)一人でも仲間とでも、主体的・創造的に学び、豊かに表現します。

(2)思いやりと優しさを持ち、前向きに生きます。

(3)やり遂げる意志と体力の向上を目指します。

※そして「未来の当事者」としての自覚を持ちます。

【北条小の職員は】

日々、研修・研究に励み

(1)今日のスタンダードな教育の充実と共に、教育の本質を主体的に模索します。（不易と流行）

(2)足下を見つめながらも、物事を時間的・空間的な広がりの中でも考えようとします。

(3)「不易と流行」「共通と固有」「個と集団」「デジタルとアナログ」・・・、

対象に対して異なる視点を持って、検討します。

(4)より良くするために、柔軟な発想で新たな実践に思い切って挑戦します。

(5)子どもを愛し、知り、子どもを伸ばす為の努力を惜しみません。

(6)「教える人こそ学ぶ」を実践し、何より人間的にも自分を高めようと努めます。

(7)保護者・家庭・地域を信頼します。

(8)分担に耐え、分担に生き、分担を超えます。

【北条小は】

(1)子どもが主体です。

(2)何より、子どもにとっても教師にとっても楽しく、活力にあふれ、夢が膨らむ学校を目指します。

(3)「あいさつ」と「歌声」が響く学校を目指します。

2. 本年度の重点目標

認め励まし、やり抜く子を育てよう

—自分で考え判断し、行動できるように—

〈指導の重点〉

(1)子どもに寄り添い認める。（話す。遊ぶ。ほめる。）

子どもと触れ合う時間を、意図的に設ける。

子どもの前向きな発言や行動をほめる。

(2)学習規律・生活指導を徹底する。（学年で指導する。）

相手を意識した、返事・挨拶・発表をさせる。

目標を設定し、やり遂げさせる。（言動に責任を持たせる。）

(3)子ども同士で学び合えるようにする。

自分の考えを持たせる。（手立てを示す。時間を確保する。発信させる。）

子ども同士のやりとりを促すために、意図的な問いかけを重ねる。

置いてきぼりを作らない。

〈子どもへの投げかけ〉

(1)新しいことにチャレンジしよう。

→目標を決め、やり遂げよう。

(2)友達や先生、地域の人と仲良くなるよう。

→相手を笑顔にする、挨拶や温かな言葉を届けよう。

(3)友達や家族、地域等に喜ばれることをしよう。

→係活動や手伝い、掃除やゴミ拾い等を進んでしよう。

〈指導の具体〉

(1)子どもに寄り添い認める

・子どもの良い姿を紹介する「学年黒板」

・ほめ言葉のシャワー

・日記やふり返りノート

・子ども主体の係活動やセンター活動、実行委員活動

・いじめ防止対策の徹底（HQUの分析の活用、要支援群への対応）

(2)学習規律・生活指導を徹底する。

・学年主任を中心として学年の指導・支援体制の確立

・「北条っ子 10の約束」の徹底

・学友会主体の生活目標にむけての取り組み

・子弟同行の清掃活動

(3)子ども同士で学びあえるようにする。

・授業形態の工夫 ペア学習・グループ学習・自由交流など

・北条MP Tの実施

・電子黒板の活用

・「さとみ物語」の実践の積み上げ（6年）

研究・研修

